

## 政治・選挙について考える

### ① 宮崎市 又江原瑠夏（またえばらるな）

私は、選挙や政治と聞いても具体的な体験も知識もなく、自分がどれだけ選挙や政治に興味を持っておらず無知なのかを実感しました。また、高校生の時は、まだ選挙に行かなくてもいいため考えなくてもいいと思っていましたが、選挙に行ける年齢になっても行こうと考えていない自分に少し驚きをもちました。高校生の時は18歳になったら必ず選挙に行こうと考えていたからです。しかし、気持ちがあるだけで参加できるわけではなく、行動する力が必要だったのだとわかりました。そして、選挙は自分に関係ないからいいという考えが選挙に行ける年になっても参加しなくてもいいかなという気持ちを作り出してしまっていたのだと考えることができました。

私は、この機会を通して政治について考えてみました。すると、以前誰かから、選挙に立候補し受かろうとしている人たちの大半が、人々の願うような政策は考えるが、本当に実行し政策を成功させ人々の願うように県を変えることのできる人はほとんどいないと言っていたことを思い出しました。この言葉が本当かはわかりません

が、その時私はこれが現実なのだろうと思ったことを覚えています。そんなこともあり政治に良い認識はあまりありませんでした。しかし、私は高校生の時に見ていた、放送しながら車で町をまわるという取り組みは良いと思っています。選挙へ立候補した人と住民の唯一の関わり場だと思うからです。私も実際に、家族で散歩をしているときに車で放送しながら選挙活動を行っている人とすれ違い、手を振ると、「ありがとう」と笑顔で返してくれたことがあり、嬉しかったし頑張ってもらいたいという気持ちになったことがあります。しかし、「だから選挙に参加しよう」という気持ちにはなっていなかったのだと改めて感じました。

なぜ私は選挙や政治に興味を持っていないのだろうと考えたとき、一番の原因は身近でないからだと思いました。自分と関わりがない人のことは何もわからないのと同じように、私は選挙や政治に関わりを持っていないため何もわからないし知ろうという気持ちにもならないのだと感じました。また、私は昨年宮崎に引っ越してきたばかりであったり家にテレビもなかったりして情報源が少ないことも原因のひとつだと思いました。今の時代は家にテレビがないことが珍しくないため他の人でも当てはまると考えます。

私は、政治や選挙が私たちにとってもっと身近な存在になることで関心を持つ人が増えるのではないかと考えました。今自分の県ではどんな人がどのような政策を考えて私たちのために動いてくれているという現状を知ることで、「私はもっとこうしてほしいからこの人に今後を任せたい」などと選挙について考えるきっかけになると思うからです。このような人が増えると投票率も上がると思います。そのためには、現状を伝えるポスターやCMなどがあると良いのではないかと考えました。テレビがある家庭ではCMを見ることができ、テレビがなくてもポスターがあれば外に出たとき誰でも見ることができます。他にも、引っ越してきた私の視点から考えると、どこで選挙の投票ができるのかを知らせてほしいと思いました。地元だと家族や近所の人に聞いて行くことができるかもしれませんが、周りに知っている人がいないとどこであっているのかもわからないと思います。よって、場所も情報をポスターなどで示してほしいです。調べればわかることかもしれませんが、調べないからわからなくて行かないという人が多いと思います。そのため自分で調べようとしなくても情報が入ると行ってみようかなという気持ちになるのではないかと考えました。

これらを考えてみて、今までは政治や選挙に興味をもっていま  
せんでしたが、自分の政治・選挙への関心の低さを実感しもっと自分の  
住む県について興味を持とうという気持ちになりました。また、出身  
地でないため、選挙に行こうという気持ちが小さかったですが、宮崎  
に住む住民の一人として投票したいと思います。そして、県をよりよ  
くする一員としての責任を持ちながら生活したいです。